



「国際競争から国際協調としてのグローバル化」

校長 松村 照司

中国湖北省から端を発した、新型コロナウイルスの感染拡大は国内外で猛威を振るい、県立学校は3月から断続的な臨時休業を余儀なくされました。学校が本来の教育活動を展開できない中で、早々に中止の決断を迫られた行事が、国際化を推進する様々な事業です。まず、全国工業高等学校長会が主催するベトナムへの海外派遣事業を中止しました。その後、静岡県教育委員会は、主催するグローバル人材育成事業のうち、モンゴル国への高校生派遣事業や海外インターンシップ、海外体験促進事業(長期・短期)の中止を決めたのです。また、本校でも同窓会の御支援を受けて実施している、台湾での海外研修を中止せざるを得ませんでした。

先日、昨年度に実施した、静岡県のグローバル人材育成事業の報告書が届き、読ませていただきました。感受性の豊かな高校生の時期に、期間は短くても海外での生活や研修を通じて得る経験は、彼らのその後のものの考え方や、進路に大きく影響を与えるものであることをつくづく実感します。例えば、海外インターンシップをタイで経験した本校生徒は、「自分の考え方を変えるような体験や、海外の未知の領域について知りたい。」といった漠然とした動機で応募したそうです。しかし、タイの企業を訪問し体験する中でその企業の技術力の高さに感心しました、タイでも英語がコミュニケーションツールとして必須であることを感じて英検を受験しようとするなど、目標が具体的なものになっていきました。中国に海外インターンシップに参加した東部の商業高校の生徒は、「日本と近い国なのに生活様式や人柄、文化の違いに驚き、これからは固定観念を持たずに、海外の方ともコミュニケーションが取れるようになりたい。」と述べています。モンゴル国に短期留学した西部の高校生は、海外の医療や救急体制に関心を持っており、「留学する前は、モンゴル国では医療は発展しておらず、器具や衛生面を懸念していました。現地に行って、それは偏見であることを知り、高度な腹腔鏡手術を見学させていただいたことに感謝し、将来に活かしたい」と述べています。今年度、このような事業が全て開催できないことは、グローバル化社会に巣立つ皆さんのことを思うと、大変残念なことです。

しかし、このような状況に陥れた感染症もまた、グローバル化の影響であることは専門家の指摘を待つまでもありません。中国湖北省で発生した感染症は、グローバル化される以前の世界であれば、単なる風土病で終わってしまったかもしれません。しかし、新型コロナウイルスは、中国の「一帯一路」政策を積極的に進めるヨーロッパの国々そして、インバウンドで海外からの旅行者を積極的に受け入れてきた日本を含む、世界各地へと広がってゆきました。今回の感染症はグローバル化の負の側面と言えますが、環境問題もまた、グローバル化の大きな課題です。世界では、地球温暖化によると考えられる大規模な森林

火災が頻発し、ヨーロッパや東南アジアでは頻発する高潮浸水被害も度々起きています。PM2.5による大気汚染やマイクロプラスチックによる海洋汚染など、確実に人類を蝕んでいます。私たちは、先進諸国であるとか途上国であるとかの区別なく国をまたいで、これらの課題の原因を共有し、協調して解決に当たらなければなりません。私たちは、日々悪化する環境問題やこの度の感染症に直面し、自国第一主義を掲げ、自国の経済のみを豊かにすることが、不可能であることに気づいています。また、それらの諸課題の解決が困難である現実、自国第一主義を唱える指導者に対して、警鐘を与えているようでもあります。今必要なのは、競争や駆け引きではなく協心戮力することです。

皆さんはこのようなグローバル化された時代に生きています。世界各地で起きている諸問題を共有し、協調して解決していくうえでも、まず世界の人々の生活や文化を理解し、コミュニケーションをとる術を身に付けていかなければなりません。グローバル人材の育成に向けて、高等学校のできることは限られていますが、本校では国際化推進室が中心になって取り組んでいます。推進室では、昨年台湾での海外研修について、その課題を踏まえ、今年度はより充実した研修プログラムの開発に取り組んできた矢先であっただけに、今回の中止は大変残念でなりません。本校同窓会も、引き続きこの事業の趣旨を踏まえ賛同していただいていることから、次年度の開催に向けて準備をしております。

次年度の積極的な参加に期待しております。

海外研修について

本校では、生徒の皆さんが将来グローバル社会で活躍できるよう、英検の受験を奨励し、また、希望者による海外研修を実施してきました。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して、海外研修は中止となりました。来年度実施ができることを願っています。次年度は次の研修を予定しています。積極的に挑戦してください。

【本校主催 同窓会による補助 台湾研修】

【全国工業高等学校長協会主催 ベトナム社会主義国訪問】

【静岡県教育委員会主催 高校生インターンシップ 訪問先(国)未定】

【静岡県教育委員会主催 モンゴル国との高校生総合交流事業】

その他の海外研修のお知らせがあれば、随時掲示していきます。

今後、国際感覚を磨き、グローバルな視野を広げられるような国際化推進室通信を発信していきたいと考えています。

静岡県立科学技術高等学校 国際化推進室 通信 令和2年度 第1号 2020年5月

国際化推進室では、職員・生徒の「国際化」をめぐる様々な体験や知見を発信していきたいと考えております。本号に関して感想をお寄せいただければ幸いです。

〒420-0813 静岡市葵区長沼 500 番地の 1 静岡県立科学技術高校 TEL:054(267)1100 FAX: 054(267)1123